

開発科目「グローバルライフ」について（2025年度実施）

本校では、グローバルイシューに対して「当事者性」をもって取り組んでいくこと、そのためには様々な現場を訪れ、次情報に触れることを重視している。しかし、すべての高校生がそのような多くの現場で学ぶことはできない。そのため、「グローバルライフ」では、すべての生徒がグローバルな課題と向き合い、世界の諸課題に対して当事者として関わっていける素養を身に付けるために（地球市民性の醸成）、高等学校必修科目である「家庭基礎」をベースに開発を行っている。本科目は1年次生の必修科目として2単位で開設している。本科目を開発するに至った背景に、「国際問題」「グローバル化」といった事柄に対して、一部の特別な人が関わるものだと考え自分事としてとらえられない生徒、そして教員も少なからずいる現状があげられる。この課題を解決するために、「日常生活がすでに世界とつながっている。これからは、誰もが世界とのつながりを考えたうえで生活をする必要がある」という当事者意識を芽生えさせる必要があると考えた。これを学校教育のなかで実現するには、生活課題から問題意識を育む家庭科の果たせる役割は大きく、そして家庭科と他教科が協働することでその可能性をさらに広げられるという考えのもと、本科目をSGHから引き続き実施している。

本科目の学習目標は、学習指導要領「家庭基礎」の目標に地球市民性を育むため、1) 日常生活の中から世界とのつながりを意識させること、2) 地球規模で考え、地球に暮らす一人としての意識を持たせることの2点を追加した。さらに地歴公民科、外国語科、国際科、農業科、工業科など複数の教科の教員で授業案の作成や授業運営を行った。今年度は4名の教員で授業を担当し、4クラス同時並行のローテーションで授業展開を行っている。

・本科目の目標

上記のような科目開発の背景をふまえ、本科目の目標を次のように設定している。

「人の一生、生活に関する学びを地球規模で考え、地球に暮らす一人としての意識を持たせる。家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得していく中で、日常生活の中から世界とのつながりを意識し、自分の生活、家庭、地域の生活課題を主体的に解決するとともに生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる」

「日本と世界とのつながりを理解し、これからの自分の生活を創造するための3つの力を身につける」

- 1) 日常生活の先にある世界を想像できる力
- 2) 日常生活から世界の課題を発見できる力
- 3) 自分の考えを他者に伝え相互に共有できる力

これらの3つの力を身につけるため、教員による知識伝達以外にも「自ら調べ、課題を発見すること」「他者との意見共有」などの時間も重視している。

・学習内容

本来の「家庭基礎」における学習内容は多岐にわたる。そのため、家庭基礎で身につけさせたい概念などをふま

えつつ、生徒が実感しやすく発展的に考えることのできる分野を絞り、開発していくこととした。最終的に、衣分野、食分野、社会との共生分野、生活とグローバル課題を考える分野の4分野で内容を構成した。本科目では、いかに“自分のこと”としてとらえられるかを大切に、身近なことから考え続けていくことを願い、題材を選定している。(年間学習計画参照)

R7 グローバルライフ 年間計画（改訂版）									
前期									
月	日	曜	回	学校行事	A組	B組	C組	D組	
					学習項目	学習項目	学習項目	学習項目	
4	21	月	1		1) 事前アンケート、ガイダンス				
	28	月	2		1-1)衣①	1-1)食①	1-1)共生①	1-1)農①	
5	2	金	3	月曜日課	1-2)衣②	1-2)食②	1-2)共生②	1-2)農②	
5	5	月		こどもの日					
	12	月	4		1-3)衣③	1-3)食③	1-3)共生③	1-3)農③	
	19	月		体育祭代休					
	26	月	5		2) DVD視聴「ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション 真の代償～」				
6	2	火	6		1-4)衣④	1-4)食④	1-4)共生④	1-4)農④	
	9	月	7		1-5)衣⑤	1-5)食⑤	1-5)共生⑤	1-5)農⑤	
	17	火	8	課題レポート提出日	2-1)農①	2-1)衣①	2-1)食①	2-1)共生①	
	23	月	9		2-2)農②	2-2)衣②	2-2)食②	2-2)共生②	
	30	月		創立記念日					
7/1～4 前期定期考査									
7	7	月	1		3) エシカル講演「SDGsに関わる企業や団体の活動を学ぼう」 薄羽さん、山崎さん、小和田さん				
	14	月	2		2-3)農③	2-3)衣③	2-3)食③	2-3)共生③	
	21	月		海の日					
9	1	木	3		2-4)農④	2-4)衣④	2-4)食④	2-4)共生④	
	8	月		黎明祭片付け					
	10	水	4		2-5)農⑤	2-5)衣⑤	2-5)食⑤	2-5)共生⑤	
	15	月		敬老の日					
	18	木	5	月曜日課 課題レポー	4) 勝浦信幸先生講演「地域社会における外国人との関わり」				
後期									
10	6	月	1		3-1)共生①	3-1)農①	3-1)衣①	3-1)食①	
	13	月		スポーツの日					
	20	月	2		5) やさしい日本語				
	27	月	3		3-2)共生②	3-2)農②	3-2)衣②	3-2)食②	
11	3	月		文化の日					
	5	水	4	月曜日課	3-3)共生③	3-3)農③	3-3)衣③	3-3)食③	
	10	月	5		3-4)共生④	3-4)農④	3-4)衣④	3-4)食④	
	17	月	6		3-5)共生⑤	3-5)農⑤	3-5)衣⑤	3-5)食⑤	
	24	月		振替休日					
	25	火	7	課題レポート提出日	4-1)食①	4-1)共生①	4-1)農①	4-1)衣①	
12	1	月	8		6) 1枚の写真と向き合い、自分の日常生活と世界とのつながりを考えてみよう→ミニストーリー作成				
	8	月	9		7) ドリー先生 講話				
	15	月	10		4-2)食②	4-2)共生②	4-2)農②	4-2)衣②	
1	7	水	11		4-3)食③	4-3)共生③	4-3)農③	4-3)衣③	
	12	月		成人の日					
	19	月		合否判定会議					
	26	月	12		4-4)食④	4-4)共生④	4-4)農④	4-4)衣④	
1/27～30 後期定期考査									
2	2	月	1		4-5)食⑤	4-5)共生⑤	4-5)農⑤	4-5)衣⑤	
	9	月	2	課題レポート提出日	8) 各クラスで発表				
	16	月	3		9) クラス代表の発表、1年間のまとめ、事後アンケート				
	23	月		天皇誕生日					

・グローバルライフの評価等

1) 文部科学省および環境省が中心となり推進している、ESD 推進ネットワークについて、2022 年 2 月に、ESD 推進ネットワーク活動可視化タスクフォースにより、学校教育、社会教育 拠点、ビジネスセクターの3領域の連携を重点とし、推進戦略を立ててESD (SDGs教育) の導入・実践支援を行うことの重要性が示された※1。本

校においては、教育活動全体 でビジネスセクター、生涯教育、啓発、社会教育セクターと共同し授業を実施しており、全 国のモデルケースになりえると考えている。グローバルライフはその中核となる科目であり、SDGs の推進のためにも欠くことのできない科目である。

<※ | <https://esdcenter.jp/wp-content/uploads/2022/02/1b5d14b4516187df3d7113008a3f0895.pdf>>

2) グローバルライフは、生徒の地球市民性を向上させるために 1 年次で実施している。この科目によって生徒の SDGs 認知度の向上、SDGs の達成に向けた行動力の向上が確認されている。また、1 年次で学習することにより、2 年次、3 年次での探求学習にむけた生徒の学びの基盤になることも確認されている。2022 年から全国の高等学校で導入された総合的な探究の時間の推進にも資する科目である。

3) グローバルライフの授業を 1 年間受講した生徒（2025年度入学生）へ記述式のアンケートを実施した。（一部抜粋）

どの授業が印象に残っていますか？	授業をきっかけになにか行動で変わったことはありますか？	授業をきっかけになにか意識で変わったことはありますか？	グローバルライフの授業でどんな力がついたと思いますか？	グローバルライフの授業についての感想を自由に書いてください。
優しい日本語の授業 海外の人から見たらどのように日本語が思われているか知ることができて不思議な気持ちになると同時にこれから気をつけようと思った。	有機 JAS マークなどのロゴを見ると「あ、ここにあるんだ！」と感ずることが増えた。	服を買う時に新品のものを買うことに少し躊躇いが出るようになった	ゴミの排出量や無駄遣いが減ったように感じた。	グローバルライフの授業を通して、資源などに対する考え方がレポートなどを書く上でだいぶ変わったように感じました。
難民・移民と外国人労働者の講話 社会の別な一面など、新しく学べたことがたくさんあったから。	あるフェアトレードなどのマークが付いた商品に目を向けるようになった。	世界のあらゆる地域では、想像できないような課題があり、その環境や人々と関わる時は考慮しなきゃいけないことがたくさんある。	問題や課題の根本的な原因を見抜く力	社会問題は当事者でなくても、生活に現れることもあるから、しっかり向き合わないといけない。ことに気づいた。
食分野での最終発表が印象に残っている。食は毎日するし、自分の中で好きだからこそ大きな存在であるため、最終発表で自分たちの取り組みだけでなく企業の取り組みもあるとより変化が大きくなるのではないかと知り考えることができたから。	物事を考える際に、自分と友達だけでなく、日本社会や昔、世界など比較範囲が増えた。	スーパーで今までよりも周りを見るようになった。置いてある商品の違いについて知りたいと考えるようになった。	世界的な問題を考えたり、興味を少しづつもつたりするようになった。また、物事の全体像を捉えられるようになった。	それぞれの分野について知ることができ、異なると思っていた物の繋がりについて、考えられふようになった。自分以外の考えが聞けて楽しかったです。
授業では、パーム油の話が印象に残った。理由は、授業をきっかけにパーム油が様々な製品に使用されている環境に深刻な影響を与えていると知り驚いたからだ。また、授業をきっかけにパーム油の存在を知れて良かった。	授業をきっかけに、食べ残しをしない事や、ごみの分別を意識することが増えたと感じた。	授業をきっかけに、自分の行動が環境にどのような影響を与えるか考えることが増えたと感じた。	グローバルライフでは、考える力がついたと考える。理由は、動画鑑賞などを通してファストファッションなどより身近な環境問題などについて考える機会が多かったからだ。	グローバルライフで学び自身の価値観が深まったと感じた。また、自分の生活に直接関わる問題について学ぶことができとても充実していたと感じることができた。

自分たちで紙芝居を考える授業が1番印象に残っています。理由は、自分たちで紙芝居を作ること自体が初めてで、やっていて面白かったからです。また、紙芝居を通して、様々な環境問題を知ることができ、勉強になったからです。	ゴミの分別を以前より気をつけるようになった。	私たちの行動ひとつが遠くに暮らしている動物たちに影響していることに気づき、油を排水口で流さないように意識するようになりました。	自分のことだけでなく、遠くに住んでいる人への影響も気にして生活する力を身につけました。	様々な環境問題を知ることができ、1年前より環境問題に詳しくなることができました。また、グループワークが多く、色んな人の意見を聞くことができて、すごく楽しかったです。
紙芝居の発表 紙芝居形式でやることによって、世界の環境問題に着いて分かりやすく学ぶことができたからと、自分たちもモチベーションが結構あったから	世界で起こっていることに対して、私たちは他国だから関係ない、という考えを持つことをやめた。	なるべくじぶんで袋を持っていくようになった、食べ残しをなるべくしないようにした	自国と世界を見て、どの国でどのような問題が起こっているのか、また、その問題は自国に関係あるのかについて考える力、グループワークでの発言力	この授業を通して、知らなかった世界の環境問題などについて考えることができた。また、自分が身近に感じていたものが他国では当たり前ではなかったことなど、新しい発見が沢山できた。
共生のシカになった授業。資源と生き物、自然の循環がわかり、楽しかった。また、木の重要性がわかり、資源を無駄に使わないようにしたいと感じた。	無駄な電気を使わないようになった。	電気をつかいすぎないように早めに寝るようにしている。	SDGsの問題に対して普段から考える力がついた。	多くの単元を通して、日常生活でSDGsについて考える機会が増えました。そこから、私生活でも資源を大切にしていくな意識を持てるようになったため、学べてよかったと感じます。
衣分野が印象に残っている。なぜなら、賞金が安い国で、劣悪な環境で服を作っているから安い服を大量生産できると知って、今まで安いからという理由だけで買っていたため考えや行動を見直すきっかけになったから。	服を買うときは、安いというところだけに注目して買うのではなく、素材やどこで作っているかなどにも意識して買うようになった。	今までは安い服がいいと思っていたけれど、必ずしも安い服がいいということはないとわかり、服を買うときにそれを考えるようになった	自分の身の回りの事が実は世界のいろいろなことに繋がっているとわかり、自分でもっといろいろなことに興味を持って調べていく力がついたりと感じる。	どの分野でもいろいろな国とのつながりで私たちは普段生活ができているのだと学ぶことができたし、GLの授業を受ける前よりも視野を広くもっていろいろなことに考えることができるようになったと感じ、とても良かったなと感じた。
衣服分野のディベート お互いの意見をぶつけ合う上で、自分の考えに課題があることを気付かされたから	規格外野菜や農業問題等について調べてみたりした。	私たちも環境問題で活躍出来るという意識を持てた。	自分の生活と社会問題を結びつける力	様々な分野から、地球の問題について学んでいったのですが、どの分野も、生活に関わるものであるため、わたしたちにも身近であると再認識できて面白かったです。
衣服の分野のディベート ファストファッションの社会的な背景や、メリット・デメリットを調べ、自分たちの生活に必要が必要でないか議論することができて学びになったため。	食品を形や色で判断せずに購入し、しっかりと食べ、なるべく残さず食べれるようになった。	ファストファッションで服を購入した後に、なるべく長持ちできるように適切に管理しようという意識を持つことができるようになった。	社会、人々、自然が調和し、共生するにはどのようなアクションを起こせばいいか深く考える力	グローバルライフでは自然との共生から始まり、他国の人々との共生、地域の人々との共生まで、さまざまな範囲の共生を学ぶことができて、将来に活かせると感じた。

衣服の授業で理由は、自分のい ばん身近なものでよく考えたから。	服を長く使ったり、リメイクしたりした こと。	服を長く使おうと意識するようになっ て行動が変わった。	世界の問題を自分のこととして考え て行動する力がついたと思う。	自分が思っているより、自分の行動 が世界の問題に関わっているという ことを知った。
衣服の授業が印象に残っている。 理由は、毎日のように関わっている 衣服のことを何も知らなかったのだ と驚いたから。	洗濯をするときも水質汚染に影響し ていると知って、洗剤の量を気にす るようになった。	洗濯の洗剤の量を使いすぎるとよく ないと知って、食器の洗い物に使う 洗剤の量も気にするようになった。	普段の生活を見直す力	なぜ、家庭科ではなくグローバルラ イフという名前なのかずっと疑問に 思っていたが、世界で起こって いることを学んでから、グローバル、 という言葉にとても納得しました。今 回学んだことを大切にしていきたい です。
バングラデシュの映像を見る授業	衣服を買うときにどこで作られたも のが見えるようになった	衣服の素材や原産地を気にするよ うになった	ものがどこでどうやって作られたの か気にする力がついた	日常生活と世界との繋がりを体験を 通した授業で知ることができて楽し かったです
パーム油の授業と、ファストファッ ションの DVD を見た時の授業	環境にいいマークを見た時にその 意味が分かるから買おうと思うよう になった。	ゴミを捨てる時に細かく分別するよ うになった。	環境だったり、近所の人との関わり を考える力	グループワークが多くてたのしかっ たです。 パワーポイントを作る時が多くて、こ れからの筑坂の学校生活に活かせ そうなことがいっぱいありました。
グローバルライフでは珍しく外へ出 た授業だったので、フィールドワーク (?)が多分印象的に残っていると思 います。	以前よりも周りの自然を見るよう になった気がする。	衣服の件で、少し素性を意識するこ とが増えたかもしれない。	日々を1匹の人間体として生きる力	一つ一つの単元を意識し過ぎて1 単元の授業回数、時間ともに足りな いと思った。
・食分野 理由:有機農業、有機食品に興味を 持っており、グループ活動を進める なかでメリットやデメリットが明確に なり、理解が深まったから。	スーパーで今までよりも、意識的に 有機食品を購入するようになった。	地産地消を心がけて、地域活性化 に貢献したいと思うようになった。	世界情勢を客観的に見て、今自分 にはどんな貢献ができるか考えられ るようになった。	中学校までの家庭科と違い、何気 ない日常生活をよりグローバルに、 国際的な視野に立って、考えること ができた。これからも GL で学んだ 教養を忘れずに、自分が今できるこ とを考え、社会に貢献できる人間に なりたい。